

---

スズ

しみちゃん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

スズ

### 【Nコード】

N7710D

### 【作者名】

しみちゃん

### 【あらすじ】

どこにでもある都市伝説のお話。

「鈴の音がしたら振り向いちゃいけないよ…。」  
その言葉を最後に姉は事故で死んだ。

―5年後―

「陸！」友達の葵が呼んでる。

「一緒に帰ろうー！！」

「良いよ！帰ろう！」

「ねえ知ってる？都市伝説なんだけどさ、鈴の音がしたら振り向いたらだめなんだって。」

「あー、それ知ってる。お姉ちゃんに聞いたことある。てか何で振り向いたらダメなの？」

「スズに殺されるんだってさ。マヂうけるし！！」

他愛も無い話。

いつも通りのお喋り。

友達と楽しみながら帰る。

その行動の一つ一つが姉を忘れさせていった。  
今思えばとても大切な事だったのに…。

「ただいま。」

誰も居ない部屋に言う。

私は高校になってから一人暮らしをしている。

親も死んだしね。

親戚にも迷惑をかけるわけにはいかないから。

P i P i P i :

突然携帯が鳴る。

「もしもし。」

電話の相手は葵だった。

「陸！助けて！ずっと鈴の音がするの！消えないの！」

「葵、落ち着いてよ！」

「キャアアアアアア！」

突然葵が悲鳴を上げた。

「葵！？どうしたの！！？」

プー…プー…

電話が切れた。

私は一目散に葵の家へ向かった。

インターホンを押す。

何度も、何度も。

でも葵は出ない。

嫌な予感がする。

ドアに手を掛けるとドアは開いていた。

「葵！入るよ！！！」

踏み入れた瞬間の鉄の臭い。

葵は赤一色の部屋に横たわっていた。

変わり果てた姿で…。

叫ぶより先に嘔吐感が私を襲った。

そこで私は気を失った…。

気がつくと私の目の前には白い天井が映った。

「ここ…どこ？」

「病院ですよ。」

横には見知らぬおじさんが居た。

「私はこういう者です。」

おじさんが警察手帳を出して言う。

「刑事さん…？」

「はい。昨夜の事についてお伺いしてもよろしいかな？」

突如、あの紅い光景がフラッシュバックする。

「…葵は…死んだん…ですか…？」

「残念ながら…。ところで、この鈴に見覚えはありませんか？葵さんが手にしてらっしゃったのですが…。」

金色の小さな鈴。

「知りません…。」

「そうですか…。辛いことを思い出させてすいません。」

そういうと刑事は帰っていった。

私も医師の許可を得て帰宅した。

昨日から置きっ放しにしている携帯。

沢山のメールが届いていた。

そのほとんどが葵の死について知らせるものだった…。

学校に行くと皆泣いていた。

その中で一つ気になる事を耳にした。

『葵、スズに連れていかれたのかな…』

確か葵電話で鈴の音がするって…。  
鈴を握り締めてたって…。

私は都市伝説のサイトを開いてスズについて調べた。

・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |  
スズ

N市の都市伝説。

後ろで鈴の音がして振り向くと死ぬという。  
死んだ者は皆鈴を握っているらしい。  
真偽は定かではないが噂の起源はスズという少女と伝えられる。

・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |

私は図書館へ行って昔の新聞を調べた。  
するとスズの正体はすぐわかった。

—1988年5月3日

N市で14歳の少女が自殺した—…  
自殺の原因はイジメだったそうだ。

そして一つの疑問が浮かんだ。

今から5年前、姉は14歳だった。

命日は…

5月3日—…。

姉の名は…鈴。

チリン…チリン…。

鈴の音がした…。

ゆっくり後ろを振り返る。

そこには死んだ姉、鈴が立っていた。

「陸…振り向いちゃいけないって言ったよね。でももう遅いね。ツレテイツアゲル…。」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7710d/>

---

スズ

2010年11月17日03時23分発行